

外国人患者受け入れ医療機関

松波総合病院が認証

松波総合病院(笠松市)に続いて認証された。町田代)が、日本医療

教育財団(東京都千代田区)から「外国人患者受け入れ医療機関認証制度」の認証を受けた。タブレット端末を使った多言語対応サービスが評価された。

同制度では、訪日外国人観光客の増加を見据え、医療施設での外国人の受け入れ体制を総合的に評価する。同病院は3月13日に全国で41番目、県内では木沢記念病院(美濃加茂

市)に続いて認証された。町田代)が、日本医療教育財団(東京都千代田区)から「外国人患者受け入れ医療機関認証制度」の認証を受けた。タブレット端末を使った多言語対応サービスが評価された。

技能実習生として来日する中国人らによる利用が、特に出産で増加している同病院。患者が英語や中国語、韓国語など9言語で利用できるタブレット端末を導入し、受付や問診票の記入、診察、治療法の説明までをサポートする。また、英語であれば24時間、通訳業者を介して医師と患者が電話でやり取りができる。診療科の案内表

示に英、中、韓の3言語を加えたほか、タブレットでの記入を記録し、管理するためのマニュアルも整えた。導入を担当したクオリティー管理部の足立

成道部長は「受け入れの基礎ができた。今後、不安を抱える外国人患者が安心して利用できる環境を整えたい」と話した。

(亀山大樹)

外国人患者受け入れ医療機関認証制度の認証書を手にする足立成道部長
■笠松町田代、松波総合病院

